

# 2009 年度区民アンケート調査 調査実施概要について

## I. 調査の概要

### 調査目的

- ・ 本調査は、平成 22 年度から 31 年度までを計画期間とする「江東区長期計画」において設定する施策評価のための成果指標のうち、区民の意識や生活実態にもとづくものについてその現状値を把握することを目的に、無作為に抽出した区民を対象として実施した。

### 調査の内容

- ・ 属性
- ・ 身近な生活環境等に対する評価（成果指標値）

### 調査方法

- ・ 調査地域：江東区全域
- ・ 調査対象：江東区在住の満 20 歳以上の男女
- ・ 標本数：3,000 人
- ・ 調査方法：郵送配布、留置、郵送回収

### 調査対象者の抽出

- ・ 母集団…………… 江東区住民基本台帳上の満 20 歳以上の男女
- ・ 抽出法…………… 無作為抽出法

### 調査期間

- ・ 平成 21 年 9 月 12 日～10 月 6 日

### 回収結果

- ・ 3,000 サンプルを抽出し、有効回収数 1,336 サンプル（回収率 44.5%）であった。

### 摘要と標本誤差

- ・ すべての集計表は、小数点第 2 位を四捨五入した。
- ・ 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基礎（n）として算出した。したがって、複数の回答の設問のすべての比率は合計すると 100%にならないことがある。
- ・ 図、表中の数字で、その項目に該当する回答がまったくないものは「0.0」と示す。

- ・ 標本誤差（サンプル誤差）はおおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得ら

れる。標本誤差の幅は、 比率算出の基礎 ( n )、及び 回答比率 ( p ) によって異なる。

$$S.E. = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(100 - p)}{n}}$$

S.E. = 標本誤差、 N = 母集団、 n = 回収数、 p = 回答率

図表I-1 誤差率

回収数	回答率					
	50%	40% 又は 60%	30% 又は 70%	20% 又は 80%	10% 又は 90%	5% 又は 95%
4,000	1.6%	1.5%	1.4%	1.3%	0.9%	0.7%
3,000	1.8%	1.8%	1.7%	1.5%	1.1%	0.8%
2,000	2.2%	2.2%	2.0%	1.8%	1.3%	1.0%
1,336	2.7%	2.7%	2.5%	2.2%	1.6%	1.2%
1,000	3.2%	3.1%	2.9%	2.5%	1.9%	1.4%
500	4.5%	4.4%	4.1%	3.6%	2.7%	1.9%
250	6.3%	6.2%	5.8%	5.1%	3.8%	2.8%
100	10.0%	9.8%	9.2%	8.0%	6.0%	4.4%
50	14.1%	13.9%	13.0%	11.3%	8.5%	6.2%

母集団は江東区「人口統計」による平成 21 年 1 月 1 日時点の 20 歳以上人口 ( 外国人登録者数を除く : 370,404 人 )

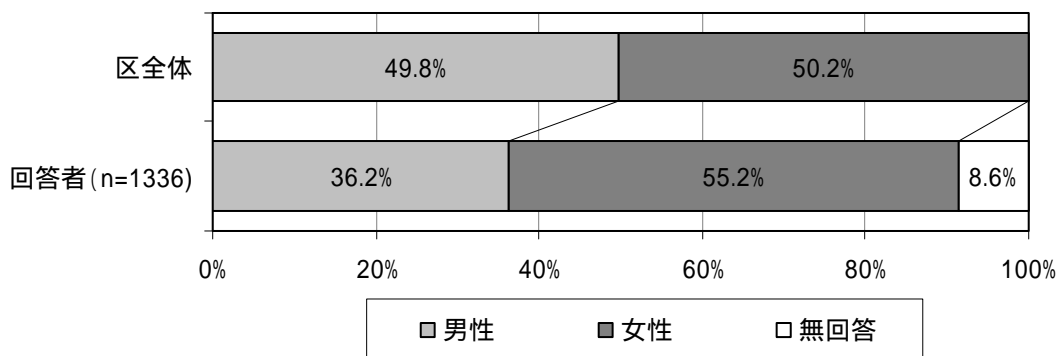
上表の誤差率は、各設問における、各選択肢の回答率に応じた標本誤差の大きさを表しており、本調査の回収数は 1,336 サンプルであったため、誤差が最も大きくなる回答率 50% の場合の標本誤差が 2.7% となっている。すなわち、ある設問における特定の選択肢の回答率が 50% であった場合、予想される母集団の回答率と今回のサンプルの回答率の誤差は、± 2.7% の範囲内におさまると考えられる。

## II. サンプル（調査回答者）特性

### 性別

- 母集団は男性、女性概ね同じ割合であるが、回答者は女性の方が高い。

図表II-1 性別

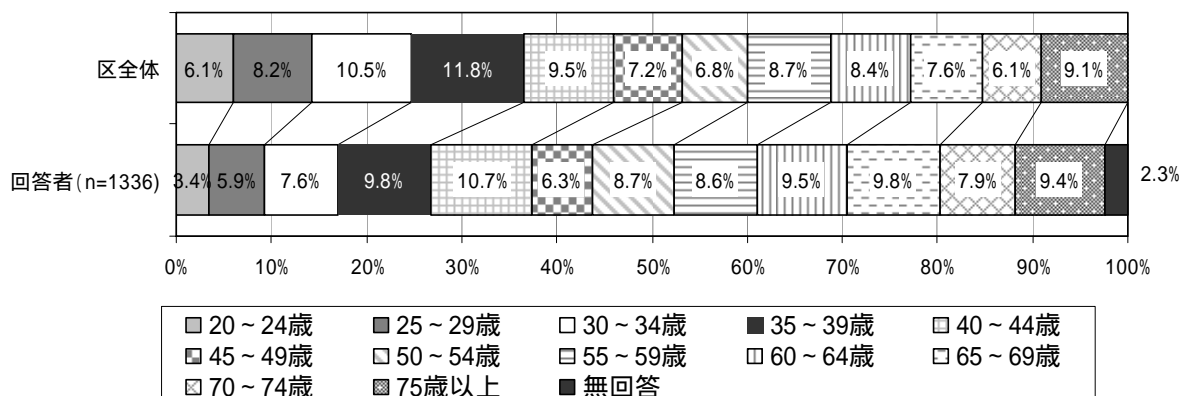


母集団は江東区「人口統計」による平成 21 年 1 月 1 日時点の 20 歳以上人口（外国人登録者数を除く：370,404 人）

### 年齢

- 母集団の割合に比べて 20～34 歳が特に低く、60 歳以上が高い。

図表II-2 年齢

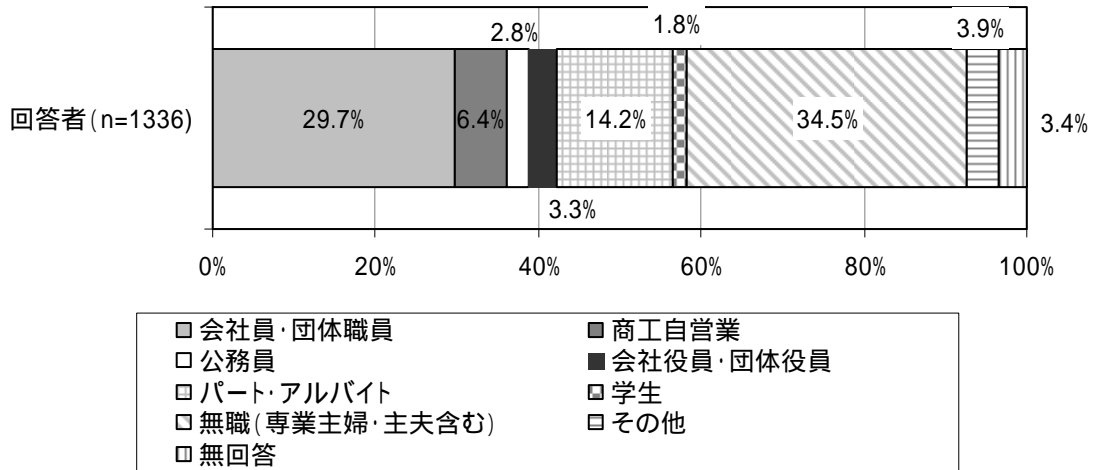


母集団は江東区「人口統計」による平成 21 年 1 月 1 日時点の 20 歳以上人口（外国人登録者数を除く：370,404 人）

### 職業

- ・ 無職（専業主婦・主夫含む）の割合が最も高く、次いで会社員・団体職員が高い。

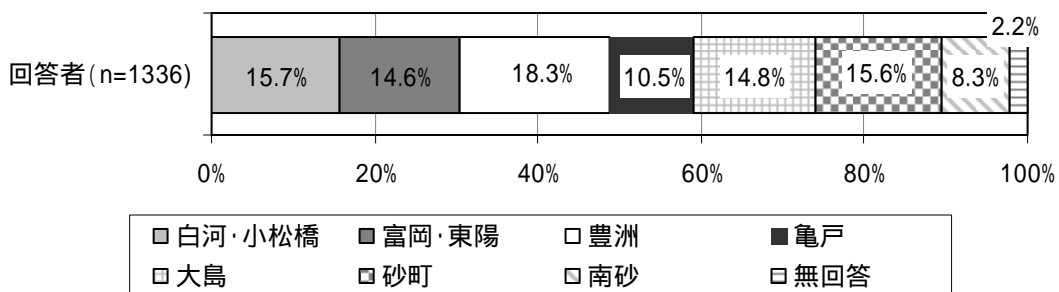
図表II-3 職業



### 居住地区

- ・ 居住地区の割合は豊洲、白河・小松橋、砂町、大島、富岡・東陽、亀戸、南砂の順となっている。

図表II-4 居住地区

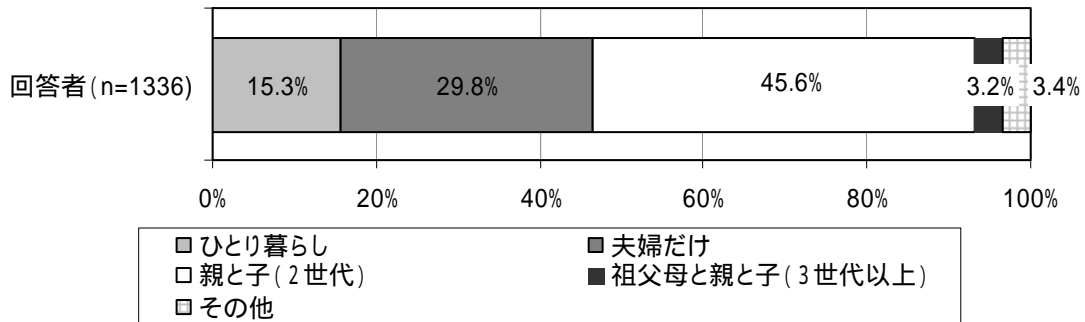


## 世帯の構成

### a) 基本類型

- 親と子からなる世帯の割合が最も高く 45.6%を占めており、次いで夫婦だけが高い。

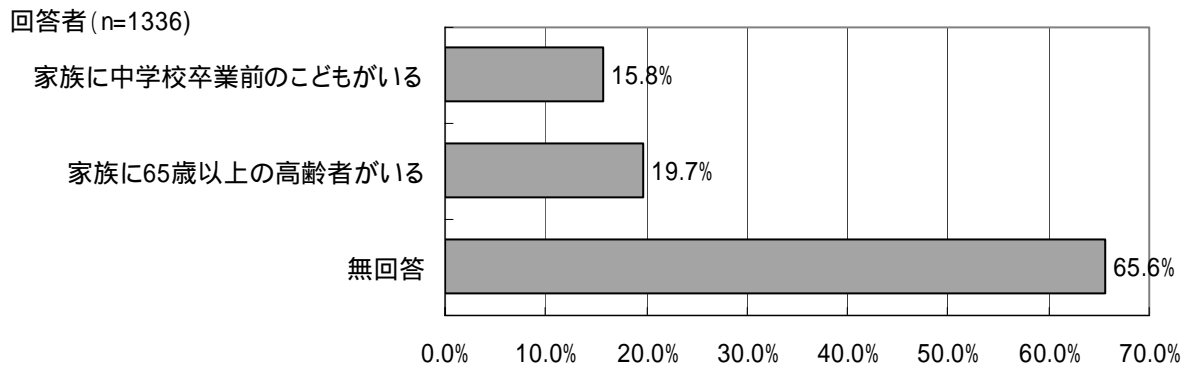
図表II-5 世帯類型



### b) 中学卒業前の子ども及び65歳以上の高齢者の有無

- 中学卒業前の子どもがいる世帯は15.8%、65歳以上の高齢者がいる世帯は19.7%である。

図表II-6 世帯に中学卒業前の子ども及び65歳以上の高齢者のいる回答者



## 住宅の形態

- 分譲マンションの割合が最も高く、次いで一戸建持家が高い。

図表II-7 住宅の形態

